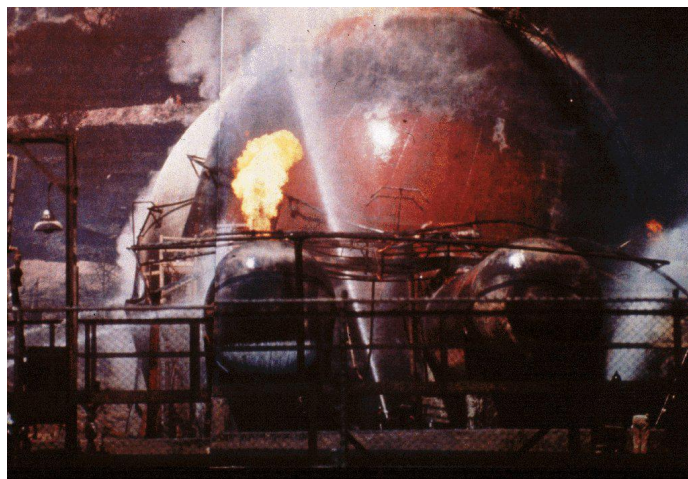


“The Beacon”をどう利用できるか？

2008年2月



あらゆる組織のプロセス安全文化を良好に維持するのに重要なことの一つは、脆弱性があるという意識を持ち続けることである。言換えれば、プロセス及び物質に付きまとう危険を常に忘れず念頭に置かなければならないということである。我々に申し分のない効果的な安全管理システムがあれば、一つの成果として事故が少なくなるであろう。(しかし)これで自己満足に陥る可能性がある。成果が上がり事故がほとんどないかあるいはゼロとなるプロセス安全管理システム活動の全部を、なぜ我々が行っているかを忘れてしまう。したがって、このような活動 危険の特定とリスク分析(プロセスリスク分析研究に最も精通した人物の任命を含む)および運転手順、資産の完全性と信頼性、変更管理、緊急事態管理、事故調査、監査、その他 をしなければ何が起こるかを思い出させるBeaconのような資料を使うことが大切である。Beaconで論ずる出来事の全てに一つまたはそれ以上の重要なプロセス安全管理システムに欠陥があった。

知っていましたか？

- 殆ど全部の事故が一つよりは複数の失敗の結果である。失敗のあるものはニアミス。そのときは事故にはならなかったが、事故になり得るものであった。
- Beaconは毎月のように、検討された事故から得られるBeaconには示されていない別の教訓を指摘する沢山のEメールを受取っている。
- Beaconは紙面の制約から、それぞれの事故からの多くの教訓のうち一つだけを取りあげ、焦点を当てなければならないが、常に他の教訓も得られている。
- Beaconに記載された事故に関する報告書が公式に入手可能な場合には常に、Beaconの送り状に参考文献を示すようにするつもりである。

あなたにできること

- 可 作業員が見て読める場所、例えば掲示板・ロッカー室・食堂・制御室・守衛所にBeaconを張出す。
- 良 Beaconを、オペレーターや他の作業員との安全会議や他の討論の資料として使用する。
- 優 Beacon中の話題に関連した、社内の類似事故あるいはニアミスを含むあなたのプラント内の操業に関する情報を作成追加し、さらに作業員と討論する。
- 最善 装置あるいはプラントの管理者が、作業員とのBeacon(内容)についての討論のリーダーとなり、記述された事故の中からBeaconで論じられたこと以外の教訓を見つけるよう仕向ける。プラント安全委員会にBeaconを使うよう申し入れる。

他人の経験から学べ！

AiChE © 2007. 不許複製 非営利的な教育目的のための複製は奨励する。ただし、再販目的のための複製は、CCPS以外のいかなる者に対しても禁止する。コンタクト先は、ccps_beacon@aiiche.org または 212-591-7319

The Beacon は英語と日本語版のほかに、アラビア・中国・デンマーク・オランダ・フランス・ドイツ・グジャラート・ヘブライ・ヒンズー・ハンガリー・イタリア・韓国・マレーシア・マラーティ・ペルシャ・ポルトガル・ロシア・スペイン・スウェーデン・タイの各国語版でも入手可能